



新規就農者 左から 中名主 求さん・牧 息吹さん・佐々木 大地さん・藤崎 和樹さん・永山 裕太郎長

新規就農者「ピーマン」はさみ入れ式

めざせ…元気な**農業**・元気な**地域** みんなで地域農業を支えよう！

来る**年が穏やかな一年でありますように…**

***** 目 次 *****

P 2・・・持続可能な農業・農協をめざして

P 3・・・認定農業者と語る会

P 5・・・新規就農者ピーマン鉢入れ式

P 6・・・作物ハイライト・セリ市

P 7・・・第 43 回美里あいら農業祭

P 9・・・肝属ブローラー団地生産者協議会
50 周年記念式典

P 10・・・JA 肝付吾平町女性部交流会

P 12・・・ミニディスクロージャー誌

P 16・・・年末年始お知らせ



新しい夢 **どんだん**



育てよう明日を

JAグループ鹿児島



肝付吾平町

<http://www.ja-k-aira.jp/>



持続可能な農業・

農協めざして



代表理事組合長

畠 添 洋 平

組合員・地域住民の皆様方におかれましては、日頃より当J Aの事業運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の5月に、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症が、5類に移行したことにより、コロナ禍前の生活に戻りつつあります。

令和5年を振り返りますと、国際情勢等による原油・飼料・肥料・生産資材等の価格高騰や子牛価格の下落、鳥インフル・豚熱等の影響により、農業・農協を取り巻く環境は、厳しい状況が続いています。

このような情勢のなか、9月30日に開催されました第72回鹿児島県畜産共進会において、永山 祐輔さん所有牛のすずめ号が、吾平史上初めて若雌1区で最優秀賞第1席、総合部門で九州農政局長賞を受賞されました。永山さんご家族の日々の努力、畜産農

家・行政・関係機関等のご支援・ご協力により、吾平牛・肝属牛の名声を高め、吾平に「元氣・勇氣・感動」を与えてくださいました。

4年後の全国共進会 北海道大会において、チーム鹿児島島の三連覇の実現に向け、最高のスタートを切ることができました。

ピーマン部会におきましては、7月19日に「ピーマン部会設立30周年・販売金額4億円達成記念大会」を盛大に開催しました。

今作より、ピーマンに夢と希望を抱いた新規就農者4名が新たに就農され、25名の部会員となり、部会員が切磋琢磨しながら、生産者・行政・J Aが一体となり所得向上に取り組んでいます。

当J A・J Aグループ鹿児島県として、日本の食糧基地として、食料安全保障の強化を図りながらコスト抑制対策、安心・安全な地元農畜産物の安定供給・販売促進を図り、地産地消・国産国産のPRを強化してまいります。今後も継続的に国・県への農政運動等の要請活動を通じて、販売価格の転嫁や支援対策等に努めてまいります。

おかげまで、当農協は今年で設立75年を迎えました。永年にわたり先人の方々が築いてこられた「肝付吾平町農協」の伝統を継承し、組織を守り続けるため、感謝の気持ちを忘れず、協同組合運動の原点に返り、相互扶

助の精神で一致団結・挑戦し続け、この難局を乗り越えていく必要があります。

今後も地域農業協同組合として、さらに地域に密着し、農家組合員・行政・関係機関と連携のうえ、持続可能な農業・農協経営の確立を図り、新時代を築いてまいります。

また、地域の農業振興を柱に、J A産地づくり10年ビジョン・自己改革重点取組事項の進捗管理を徹底し、「現場主義」で「対話と考動」を実践のうえ、農家組合員の所得向上、地域農業・地域活性化の維持発展のために、全役職員・従業員等と心ひとつに全力で前向きに邁進してまいります。

来年は辰年です。辰年は豊作・成功する年といわれています。新年が皆様にとりまして、「龍の如く飛躍し、明るい未来・笑顔の年」となることをご祈念申し上げ、年末のあいさつとさせていただきます。

常務理事(信用・共済)
餅原 敏郎常務理事(経済・管理)
緒方 初男

認定農業者と語る会

10月26日(木)JA本所2階会議室にて、令和5年度「認定農業者と語る会」が開催されました。会では、自己改革重点取組事項の進捗状況等について報告があり、その後、意見交換会が行われました。

《意見・要望》

Q 農業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。そのようななか、JAの果たす役割は今後の吾平地域にとって非常に重要であり、JAは吾平地域にとつて欠かせない存在である。畠添組合長を先頭に、職員が一致団結してこの情勢を乗り切つてほしい。畜産関係では県共進会で素晴らしい成績をあげ、吾平地域の農業に元気を与えた。園芸等の品目においても、昔の吾平かぼちゃのように、吾平が誇れるような新たな作物にも挑戦するなどして、農業者の皆さんに明るい話題が発信できるような組織であつていただきたい。

【回答】

A 来年度、新規品目として、鉄コン収穫のかぼちゃを試験的に取り組む予定です。

現在、経済連が青果と加工と合わせた、鉄コンかぼちゃの収穫を実施しております。当JAでの

鉄コンかぼちゃは、できるだけ手を抜いて、面積を拡大し、しっかりと収量をとつて、所得を上げていくような作物にしたいと思います。子牛価格も厳しいなか、畜産農家にとってはリスク分散の二つの作物として、また土地利用型作物の二つとして、鉄コンかぼちゃを普及させていきたいと考えています。

厳しい時代だからこそ、県下13JAで一番小さなJA、一番小回りが利く地域農業協同組合として、今後、さらに役職員・従業員等一体となつて、農家組合員の所得向上、地域農業の維持・発展に前向きに取り組んでまいります。

Q 人口減少がすべてのマイナスの原因ではないのかと思う。農協も今、人手不足というところだが、外国人労働者の雇用を検討してもいいのではないかと思う。

甘藷については、基腐病に対しての対策を試行錯誤しているが、具体的な対応策はまだ何も見えておらず、基腐病に対しての助成金・補助金や農家さんに対する補填的なものは何もない状況である。それぞれの農家さんの経営規模、生活スタイルに合った、かゆい所に手が届くような対策を行うことが重要であり、最終的に望むのは、色んな問題が改善されて、農家・地

域住民の皆さんが元気になること、充実した生活、明るい生活ができるようになることであるので、地元吾平町に貢献できることは何かをJAとしても考えていくべきではないか。

A 外国人労働者の雇用につきましては、数年前に当JAの職員がベトナムに研修に行っています。しかし、当時は衣食住等、労働条件・環境面の問題で外国人労働者の雇用は難しい部分がありました。先日、整備士関係の外国人労働者を雇用している志布志の自動車修理工場へ視察研修させていただきました。現状としては、県中央会等に現状確認・連携させていただいて、更なる調査を実施しながら、今後、当JAとしても外国人労働者の雇用について、前向きに検討・対応してまいります。

JAとして、地域農業の発展・地域活性化は重要なことです。相互扶助の精神でお互い助け合い・誰かのため、みんなのためにという「For you (フォーユー) 精神」をもち、農商工連携による対策を進めなければならないと思っています。

Q 畜産経営については、今までは専業ということで経営を行ってきた。しかし、これが根底から崩れるような状況にある。今後は、複合経営

も視野に入れ、どの作物と組み合わせたら、畜産経営を営みながら作物を育てられるのか考えていかなければならないと思う。また、化成肥料の価格が非常に高騰していることから、堆肥センターをもっと有効的に活用すべきではないか。いい品物を安く提供するため、化成肥料を抑えることができるような堆肥の改良を検討してほしい。

A 畜産農家の複合経営の見直し、堆肥センターの有効活用ということで、営農指導課・営農企画課・行政・経済連等と一体となって前向きに進めてまいります。

Q 神野地区において、「歳をとって田んぼで米を作れないから、草でも作ってほしい」とよく頼まれるが、私自身も自分の経営ですべてを引き受けることはできない。せつかく美味しい米ができるのに、田んぼを活用して米作りをできないのが非常に持たない。兼業でも構わないので、1反でも2反でも誰か米を作っていただけのような声掛けを行ってほしい。

A 現在、転作奨励金の関連もあり、WCS（飼料用稲）が増えてきていますが、JAとしましても吾平の美味しい早期米「イクヒカリ」がありますので、水稻部会・転作受付等において、1反でも米を作付していただくよう

に声掛けを行っています。しかし、近年のWCS（飼料用稲）の作付け増加、肥料・資材高騰、高温障害等による1等米比率の低下等の影響を受けまして、早期米の作付面積は減少傾向です。米の作付も含めて、すべての農畜産物において、多くの方が所得向上し、収量を取れるような施策や情報提供・声掛け等を行ってまいります。

Q 農家とJAはお互いが助け合える関係であるべきだと思う。農家が強くてもいけないし、JAが強くてもいけないが対等で話せる人間関係の構築が重要であると思う。人間関係が構築できていれば、多少価格が高くてもJAで品物を買うのではないか。根本的に重要なことは、JA内での縦横の連携、農家との連携であり、ここを密にできれば、人員不足等さまざまな問題に対して解決策も見えてくるのではないか。まずはあいさつをすること。そういったことから人間関係は始まると思う。

A 先般、開催しました階層別研修会において、礼節・接客接遇の指導、現場へ出向く購買・販売の実践、農家組合員・地域住民との「対話と考動」の重要性、組合員・利用者・同僚等、すべての方への感謝の気持ち、絆を大切に目配り・気配り・心配りを実践、様々なことに挑戦して

ほしい等の話をしました。現状のままでは、農業・農協経営はさらに厳しくなってしまう。この難局を乗り切るには、時代変化に順応し、新たな発想で様々な取り組みをすることが大事であると思います。

「組織は人なり」ということで、自立創造型の人財育成、人財を育てる教育、人が育つ環境を作っていくことが重要です。今後も継続的に朝礼、日常業務、会議等を通じて、活力ある職場づくり・人づくりに努めてまいります。

今、より良い職場は「心理的安全性」お互い話しやすい、風通しの良い職場環境が求められています。今一度、初心に返ってチームワーク・コミュニケーション向上の教育指導を継続的に徹底してまいります。

Q 農業であつても人材というのは非常に大切で、それによって収入も変わると思う。JAも人員不足であるということなので、外国人労働者も検討しながら、人材の確保に努めてほしい。

A JAにとって、人員不足は大きな問題であり、早期に解決しなければならぬ重要課題です。人材は「宝」ですので、様々な角度から、新卒・中途採用も含めて、人材確保に向けた取り組みについて対応してまいります。

ピーマン新規就農者はさみ入れ式



「鵜戸生産組合」はさみ入れ式

11月24日（金）に新規就農者4名のはさみ入れ式が、鵜戸生産組合の藤崎 組合長ハウスで行われました。

J A 肝付吾平町ピーマン部会は、平成4年に生産者2名で約60aの面積から始まりました。現在は部会員25名、栽培面積約6haに拡大され、令和4年産においては販売金額4億円を突破いたしました。

式には、生産者・鹿屋市吾平総合支所・大隅地域振興局・J A と関係者ら34名が出席し、畠添 組合長より「農業振興なくして地域の発展・未来はありません。原油・肥料・資材高騰等により厳しい経営環境ではありますが、ピーマン部会員として一丸となり、生産者・行政・J A と知恵を出し合い連携を図り、相互扶助の精神とともに前向きに頑張っていきましょう。」と激励のあいさつがありました。

鹿屋市吾平総合支所産業建設課 上相 課長は「スマート農業の先端技術を導入されI P M栽培など、環境に優しい、安心・安全なピーマンの産地化に努め、果敢な挑戦に敬意を表します。」とお祝いの言葉をいただきました。

最後に鹿屋市の新規就農支援事業を活用し、昨年8月から1年間部会員のハウスで研修を終え就農しました藤崎 組合長より「鹿屋市とJ A の支援により立派なハウスが完成しました。今後も感謝と謙虚さを何年たっても忘れず、目標の反収15tに向けて頑張っていきます。」と力強い決意を述べられました。

吾平中央消防会館

シャッターアート



ぜひ、皆さん見に来てください！

11月27日（月）吾平中央消防会館のシャッターに、シャッターアートが描かれました。中央消防団員の企画で、吾平町キャラクター「うがやくん」・J A 肝付吾平町キャラクター「みさとちゃん」がコラボしたイラストが描かれています。市民の生命と財産を守り、安心安全な地域社会づくりのため、地域貢献の一環として取り組まれた活動です。





必見作物ハイライト



ピーマン

11月に入り気温も高く収量が増えましたが、現在は気温も低くなり、暖房機、ヒートポンプ活用しながらハウス内の温度管理を行っています。また、低温・低日照不足対策で、発根促進剤や葉面散布も行っています。病害虫については、コナジラミ・チャノホコリダニ・うどんこ病・斑点病が一部発生しており、防除で対応しています。

なす

11月より安定して出荷が出てきましたが、12月中旬から徐々に、なり疲れもあり、収量が落ちてきています。病害虫については、ヨウトムシ・チャノホコリダニの発生があり、防除指導中です。

子牛せり市 成績



＜単位：円＞

11月 子牛セリ	性別	頭数	平均体重	最高	最低	平均価格
	めす	27	279	601,000	189,000	447,185
	去勢	32	299	802,000	203,000	488,906
	雄	1	250	890,000	890,000	890,000
	合計	60	289	890,000	189,000	476,817
12月 子牛セリ	性別	頭数	平均体重	最高	最低	平均価格
	めす	43	271	706,000	232,000	480,093
	去勢	59	303	991,000	327,000	610,441
	合計	102	290	991,000	232,000	555,490

毎月、子牛せり市が開催される週の平日の5日間、母牛用飼料と一般ふすまの特売実施中！

J A 肝付吾平町第2期協同組合大学 開講式

受講生



J A 肝付吾平町

第2期協同組合大学開講式

(下段左側から)

ピーマン：藤崎 和樹さん

ピーマン：佐々木 大地さん

ピーマン：中名主 求さん

肉用牛：永山 祐輔さん

ピーマン：牧 息吹さん

養 豚：田中 健太郎さん

10月20日（金）、J A 本所2階会議室にて、J A 肝付吾平町第2期協同組合大学開講式が行われました。協同組合大学では、J A の存在意義や役割を学ぶことで、協同組合活動への理解を深め、組合員意識の醸成を図るとともに幅広い視点を持った地域農業を担う次世代リーダーを育成することを目的として開講した当大学は、生産部会の若手リーダーや新規就農者など7名が受講しています。

開講式の第1回は、J A 鹿児島県中央会教育部 瀬戸口 久人 専門考査役を講師として「J A の歩みと仕組み そして、今なすべきこと」と題して講義が行われました。

協同組合大学は、令和5年10月～令和6年2月まで5回受講いただき、座学による学習や外部講師による講演等を行いながら学んでいきます。

畠添 組合長は、「講義を受講することで、新たな知識・情報・幅広い考え方を学び、未来の組合員リーダーとして、地域の農業振興や安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに、共に取り組んでいきましょう。」とあいさつしました。

第43回美里あいら農業祭

11月12日（日）、コミュニティセンター吾平振興会館にて、4年振りに第43回美里あいら農業祭が開催されました。当JAでは、青年部美里会の会員とともに地元農産物の黒牛・黒豚・黒さつま鶏・なす・ピーマン・さつまいも等の販売を行いました。

特に、地元吾平産A5・12番の最上級牛肉の半頭買いの販売は午前中で完売し、牛肉の消費拡大・PR活動にもつながりました。

農業祭は、豊かな実りに感謝し、地域農畜産物の宣伝と消費拡大を図るとともに生産者と消費者の交流を通じて、生産者の生産意欲の向上と消費者の農業・農畜産物への理解を深めることにより農業振興・地域経済の活性化を図ることを目的に開催されています。

農業祭式典では、特別表彰 永山 祐輔さん・産業経済功労者表彰 中野 喜作さんら3名と2組、産業経済永年従事者表彰 正込 孝志さんら16名、「あいら一番」認定者 小竹 操さんら11名の合計36名の方々が表彰されました。

イベント会場では、お楽しみ抽選会・牛肉販売・たまごつかみ取り・農畜産物のPR抽選会・農畜産物の即売・重量当てクイズ等、約4,000人の来場者の皆様に楽しんでいただきました。



農業祭式典



特別表彰：永山祐輔さん

JA肝付吾平町畜産振興会グラウンドゴルフ大会

11月9日、吾平町多目的運動広場にて、約60名参加のもと、JA肝付吾平町畜産振興会グラウンドゴルフ大会が開催されました。

当日は、天候に恵まれ、元気いっぱいにプレーし、笑い声や歓声が聞こえ、親睦を深めることができました。

成績は以下のとおりです。

- 1位 立元 幸男さん（立元班）
- 2位 前村 とみ子さん（持田班）
- 3位 白口 明さん（萩崎班）



優勝の立元幸男さんと東桂木利美会長

かのや市乗合ワゴン（吾平・川東線）運行開始式

12月2日、当JA本所前の駐車場において、鹿屋市・各町内会長・関係者含め約30名出席のもと、かのや市乗合ワゴン運行開始式が開催されました。

式では、鹿屋市長・吾平地区町内会連絡協議会 前田 昭紀 会長、運行事業者の有限会社カトレア交通 代表取締役 野尻 辰也様があいさつされました。



かのや市乗合ワゴン運行開始式

その後、運転手への花束贈呈、吾平のキャラクター「うがやくん」・当JAのキャラクター「みさとちゃん」を含め、関係者7名によるテープカットが行われました。

今回、鹿屋市では、公共交通不便地域に居住する地域住民の移動手段を確保し、日常生活の利便性向上を図るため、「乗合ワゴン」の運行を開始することとなりました。

運行は、毎週火・木・土曜日に利用料金（1回・片道）200円～500円で、自宅付近等から吾平地区・川西地区・鹿屋市街地・寿地区の23乗降ポイントを運行されるとのことです。

詳細は鹿屋市市長公室地域活力推進課 交通グループ（TEL 31 - 1147）・鹿屋市吾平総合支所 住民サービス課（TEL 58 - 7213）まで、お問い合わせください。



吾平町肉用牛老いどんが倶楽部 肝付町高山馬頭観音さあ会 福山町老いどん会

地区合同 研修交流会



11月28日（火）、鹿屋市のホテルにて、福山町・肝付町・吾平町の3地区約90名の畜産農家・行政・JAの関係者出席のもと、4年振りの合同研修交流会が開催されました。

吾平町肉用牛老いどんが倶楽部は70歳以上の肉用牛飼養農家で組織されており、肉用牛を生き甲斐とし育て、親睦と融和をもって健康で豊かな老後をおくりながら、地域の畜産振興に貢献しています。

研修会では、吾平町肉用牛老いどんが倶楽部の吉村 良洋会長が主催者あいさつをされ、福山町老いどんが倶楽部の岩崎会長・肝付町馬頭神さあ会の堂園会長にあいさつをいただきました。

来賓あいさつでは、当JAの畠添組合長が「人生100年の時代です。各地区の畜産振興と未来の後継者育成、健康づくりの一環として、笑顔を忘れず元気に牛飼いを続けてください。」とあいさつをしました。

また、大隅地域振興局 高木先生より『子牛生産性向上』についての講演があり、畜産農家の皆さんは真剣な眼差しで受講されました。

その後、3地区の懇親会が開かれ各地区の会員と情報交換・親睦交流を深めました。



「肝属ブロイラー団地生産者協議会 50周年記念式典」盛大に開催

10月26日（木）、鹿屋市ホテルにて、生産者・関係者約110名出席のもと、肝属ブロイラー団地生産者協議会50周年記念式典が盛大に開催されました。

当団地は、発足から50年を迎え、節目として記念式典を開催し、関係者相互の融和を図りたいとの熱い思いから開催されました。

式典では、協議会の上園会長が主催者あいさつをされ、その後、鹿児島チキンフーズ株式会社の城元社長等が来賓祝辞を述べられました。

懇親会では、当J Aの畠添組合長が乾杯のあいさつをし、生産者・関係者との意見交換や50年の歴史の思い出話で盛り上がり、実り多い記念式典となりました。



萩崎守夫さん：感謝状授与

現在、当管内のブロイラー農家は、萩崎 守夫さんと田原 敏郎さんがいらっしゃいます。

式典の特別表彰では、当団地で発足当初から50年以上継続し、就農されている萩崎守夫さん他3名の生産者が感謝状を授与されました。

萩崎さんは、「50年間で色々な苦悩があったが、家族や色々な方の支えのお陰で、今日まで頑張ってきた。今後も家族と助け合って頑張っていきたい。」と決意を新たにされました。

J Aところ役員視察研修受入

12月1日、北海道北見市のJ Aところ役員9名の方々が、当J Aの視察・意見交換会に来農されました。

会では、先ずJ Aところ 川上 和則 組合長があいさつされ、当J Aの畠添組合長があいさつと経営理念・経営方針等について、緒方常務が組合員の所得向上への取り組み等について説明し、その後、両J Aの役員による貴重な意見交換が行われました。

J Aところは、当J Aと同じく単独J Aで、今年で設立75年を迎え、農産物では玉葱・てん菜・馬鈴薯・小麦の取扱高が多く、漁業と連携し共同で給油所を運営しており、健全経営を確立しているJ Aです。

会の最後には、小野寺 俊幸 会長（前 北海道農業協同組合中央会 会長）より「激動の時代ですが、互いに単独J Aとして、農家組合員・地域のため、信頼される農協をめざして邁進していきましょう。」と閉会のあいさつをいただきました。

今回の研修では、当J Aが学び考動すべき内容も多くあり、充実した研修受入となりました。今後もJ Aところと情報交換や連携を行い、農家組合員の所得向上を図り、地域に貢献し信頼されるJ Aを実現します。



J A 肝付吾平町 女性部交流会

11月29日(水)、J A 肝付吾平町女性部員・J A 関係者約45名が参加し、志布志湾大黒リゾートホテルにて5年ぶりに「J A 女性部 交流会」が開催されました。

会では、堀之内 節子部長は、「沢山の部員の方に参加をしていただきありがとうございます。今回このように交流会が開催できたのも、J A の皆様のおかげです。感謝いたします。」とあいさつがありました。

畠添 組合長は、「農業は生命産業です。地域農業を盛り上げていくには、女性の力が必要です。皆で力を合わせて地域の農業振興・活性化を図りましょう。」とあいさつしました。

部員からは、「1年の厄払いができた気がします。今までの疲れがいっぺんに吹き飛んだようです。今日は、肉の日だからAコープで美味しい肉を買って家族で味わいたいと思います。」と今日の喜びを話していただきました。



踊りの達人・太鼓の達人・歌の達人



J A 女性部 堀之内節子部長

鷹山塾を終了して…。

営農指導課 西迫 和昭

J A 中核営農指導員育成研修(営農版鷹山塾) 閉講式



終了論文発表で優秀賞受賞(第2位)

私は、鹿児島県農業協同組合中央会営農サポートセンターが主催する営農版鷹山塾(J A 戦略型中核人材育成研修)に第1期生として、令和5年7月～令和5年11月までの約5ヶ月間にわたり、各種研修を受講しました。

今年の営農鷹山塾については、県内の各J A より14名の塾生が選ばれ、各種カリキュラムに基づき、「経営学」、「マーケティング論」、「ファシリテーション研修」、「パワーポイント作成」といった様々な研修内容について深く学ぶことができました。

修了論文では、J A 肝付吾平町ピーマン部会産地づくり10年ビジョンについて、現状から課題の分析、取組状況や今後の対応について発表を行いました。今後は、ビジョン達成に向けて、できるところから少しずつ実践していき、営農指導員として生産者と一緒になって所得向上と安定した経営ができるよう指導していきます。



肝属地区肉用牛振興大会



11月11日、肝属中央家畜市場において、J A鹿児島きもつき・当J Aの主催により肝属中央家畜市場にて、『肝属地区肉用牛振興大会』が生産者・県議・市議・行政・J A関係等約400名出席のもと盛大に開催されました。

大会では、主催者のJ A鹿児島きもつきの下小野田組合長が挨拶をされ、来賓の方々にあいさつをいただきました。

その後、きもつき愛牛会の江口 一男会長より「人生七転び八起」の講演。また、記念講演として「肉用牛情勢と今後の展望について」野村 哲郎 参議院議員より、貴重な講演をしていただきました。

畜産をとりまく環境は、緊迫する世界情勢のなか、配合飼料価格をはじめとする生産資材の高止まりによるコストの増大、物価高騰による牛肉消費の鈍化で牛枝肉相場や子牛価格は低迷し、農家経営は大変厳しい状況であります。このようななか、今回の大会は畜産農家が意欲をもって、経営が継続できることを目的に開催されました。

閉会のあいさつで、当J Aの畠添組合長は、「この厳しい時代を乗り越えるため、生産者・関係機関・J Aがさらに一致団結し、チームきもつきとして肝属牛の名声を高め、自信と誇り・プライドをもって前向きに頑張っていきましょう。」と力強くあいさつしました。



J Aで年金受給の方へ
これからJ Aで年金受取される方へ

年金なかよしキャンペーン

“紹介した方”、“紹介された方”にもれなくJ A商品券1,500円分プレゼント！

★J A肝付吾平町年金友の会特典★

- ① 毎週木曜日Aコープでお買い物すると素敵な粗品プレゼント
- ② 会員様の集い又はバスツアーの開催
- ③ グラウンドゴルフ、ゴルフ大会への参加
- ④ 年金なかよしキャンペーン
- ⑤ 年金受給者様限定！ お得な定期貯金



問合先：金融課 58-6538

組合員のみなさまへ

J A葬祭：ルミエール肝付あいら

家族葬から一般葬まで、感動の人の葬を、ルミエールのスタッフが、真心込めてお手伝いさせていただきます。葬儀費用はご予算に応じて承ります。事前相談等お気軽にご相談ください。

優しさで包まれたお葬式を形にします。

24時間 年中無休対応

ご葬儀・法事・初盆のご相談はルミエール肝付あいら

電話番号58-5757



～Aコープ情報～「ふれあい積立」始めませんか！

令和6年1月よりAコープではふれあい積立金の募集をいたします。

1口 2,000円 から（1口500円の商品券が付きます）



- * 1月から積立を始めて11月までの払込期間となります。
- * 11回の積立で12月には満期となりAコープ商品券と引き換えます。
- * Aコープは主婦の味方です。作る人の真心と、食べる人の安心を追求します。身近な暮らしの拠点となるように、なお一層「安心・安全・新鮮」に取り組みます。皆様のご来店を従業員一同お待ちしております。

〈問合先〉Aコープ肝付あいら 電話58-8711

ミニディスクロージャー誌

1. ごあいさつ

いつも J A 肝付吾平町をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当 J A は、地域の一員として、「信頼される元気な J A」をめざし、地域農業の発展と健康で豊かな地域社会づくりのお役に立てるようリレーションシップバンキング（長期的な信頼関係にもとづく金融業務）の機能強化に向け、取り組んでいます。

この小冊子は、皆さま方の当 J A に対するご理解をさらに深めていただくため、自主的に、令和 5 年度上半期における事業実績と地域貢献活動等の情報をディスクローズ（開示）したものです。

ぜひ、ご一読いただき、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 11 月

肝付吾平町農業協同組合 代表理事組合長 畠添 洋平

2. 金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債 権 区 分	令和 5 年 8 月末	令和 5 年 2 月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1 9	1 8	1
危 険 債 権	0	0	0
要 管 理 債 権	0	0	0
小 計	1 9	2 0	▲ 1
正 常 債 権	1, 8 5 4	2, 0 6 2	▲ 2 0 8
合 計	1, 8 7 3	2, 0 8 2	▲ 2 0 9

3. 単体自己資本比率（国内基準適用）

令和 5 年 8 月末	令和 5 年 2 月末
19.13%	19.19%

（注記）「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成 1 8 年金融庁・農水省告示第 2 号）（バーゼルⅢ）に基づき算出しております。

4. 主要勘定の状況

（単位：百万円）

	令和 5 年 8 月末	令和 5 年 2 月末	令和 4 年 8 月末
貯 金	1 3, 8 3 2	1 4, 2 2 7	1 4, 0 0 8
貸 出 金	1, 8 7 1	1, 9 5 1	2, 0 2 4
預 金	1 1, 8 3 1	1 2, 2 7 6	1 1, 8 7 8
有 価 証 券	0	0	0

5. 地域貢献活動

当 J A は、おかげさまで今年で設立 75 年を迎え、鹿屋市吾平町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当 J A の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としています。当 J A では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいています。

当 J A は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、J A の総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

***** 園芸女性部総会 *****

10月30日（火）、J A本所2階会議室にて園芸女性部総会が開催されました。

土橋 和恵部長は「園芸女性部は地元の安心安全な農産物のPR活動や、食の大切さを未来につなぐことを目的にしていますが、昨年につき新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、鹿児島女子短期大学産地交流会も中止となり、活動が厳しい一年となりましたが、園芸女性部のパワーを来年度は十分に発揮し充実した年にしましょう。」とあいさつされました。

総会では、1号議案から4号議案すべてが承認されました。

総会終了後は、下名地区のモザイルタイルの店 KOBiTOS・ART・SHOPの方を講師に来ていただき「ペン立て工芸」を開催しました。

皆さん悪戦苦闘しながらも素敵なペン立てができ上がったと喜んでいただきました。



楽しくペン立て作り



でき上がったペン立て



第2回オートパル友の会 「ゴルフ大会」・「グラウンドゴルフ大会」

オートパルでは、オートパル友の会員の親睦・交流の一環として、11月19日（日）に第2回オートパルゴルフ大会、10月23日（月）に第2回グラウンドゴルフ大会を開催いたしました。

2回目を迎えた大会でしたが、当日は皆さんはつらつとプレーされ、珍プレー好プレーに大盛況の大会となりました。

今後も、会員の皆様に喜んでいただけるよう、様々なイベントを企画いたしますので、会員になって一緒に楽しみましょう。

オートパル友の会 会員特典（対象：町内の方）



1. 年会費1,800円で、車検時3,000円引き
2. 年1回の総会時に記念品進呈
3. 年1回オイル交換2,000円割引券進呈



問合先：オートパル

58-6515

かぼちゃ（なんきん）施設慰問



陵北荘にて

12月22日（金）は冬至。

「冬至にかぼちゃを食べると風邪をひかない。運氣も上昇する。」と言われるほど、冬至は大切にされています。

当JAでは、平成15年より「施設入所者の皆さんの健康維持・運氣上昇を心より願い、冬至に吾平特産のかぼちゃを食べていただこう。」と施設慰問を行っています。

12月13日（水）に、今年で20回目の施設慰問を畠添組合長・緒方常務・餅原常務等が吾平管内の8施設を慰問し、生産者の皆さんが丹精込めて作った「吾平かぼちゃ」をお届けしました。

施設の役職員・入所者の方々は「いつも美味しい吾平かぼちゃをありがとうございます。冬至にみんなで食べさせていただきます。」と大変喜んでいただきました。

かのや
プレミアム
商品券
取扱店

みんなで地域のお店を応援しよう！

JA肝付吾平町

購買課・Aコープ・オートパル・第1給油所・第2給油所でご利用できます！

有効期限：令和6年1月31日まで



オートパル肝付あいら

新春
初売りフェア
開催

1/13(土)・1/14(日)
AM9:00～PM6:00

オートパル肝付あいら ☎0120-586-515
鹿屋市吾平町164-1 営業時間8:30-19:00 毎月第3日曜日定休

農政活動

1. 11月13日（月）・14日（火）
「JAグループ基本農政確立全国大会」・・・東京都
2. 11月25日（土）
「野菜・果樹・畑作物対策委員 現地調査における意見交換会」・・・鹿児島市
3. 11月26日（日）
「畜産・酪農対策委員会 現地視察における意見交換会」・・・JAあいら
4. 11月27日（月）・28日（火）
「甘味資源作物対策JA主産道県代表者集会」
・・・東京都

- 理事會だより
- 第十三回理事会
（十月二十六日）
- ① マネー・ローンダリング等及び反社会的勢力等への対応に関する基本方針の一部改正について
 - ② マネー・ローンダリング等への対応に関する規則の一部改正について
- 第十四回理事会
（十一月二十二日）
- ① 令和五年度上半期ディスクリージャー誌の発行について
 - ② 高額貸出金について



1月～2月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
				12/28 年金友の会員デー (A コープ)	29	30 利用者感謝デー (給油所)
31	1/1 元旦	2	3 初商	4 年金友の会員デー (A コープ)	5	6 利用者感謝デー (給油所)
7	8 成人の日	9	10	11 年金友の会員デー (A コープ)	12	13 利用者感謝デー (給油所) オートバブル展示会→
14 オートバブル展示会→	15	16 ふれあい訪問日←→	17	18 年金友の会員デー (A コープ) 子牛せり市←→	19	20 利用者感謝デー (給油所)
21 第30回あいら 名物木市祭 【店休日】 オートバブル、第一 給油所	22	23	24	25 年金友の会員デー (A コープ)	26	27 利用者感謝デー (給油所)
28	29	30	31	2/1 年金友の会員デー	2	3 利用者感謝デー (給油所)
4	5	6	7	8 年金友の会員デー	9	10 建国記念日 利用者感謝デー (給油所)

編集後記

月日が経つのは早いもので、令和5年も残すところあと僅かとなりました。

今年一年を振り返ると、5月より新型コロナウイルスが五類感染症へ引き下げられ、約4年ぶりに各地で催しが再開されるなど、私たちの生活も戻りつつあります。

そのようななか、急激な円安や世界情勢の影響で肥料・飼料などの生産資材価格は高騰し、農家・組合員の農業生産に大きな影響を及ぼす1年となりました。JAとしても、持続可能な農業のため、関係機関と一体となった対策や組織の力を結集した取り組みを継続的に講じてまいります。

当JAは令和6年も地域に貢献し、信頼される組織として、組合員・地域住民の方々とともに歩んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日に日に寒さが増してきています。体調管理に充分留意され、輝かしい新年をお迎えください。



年末年始のお知らせ



オートパル【58-6515】

- 《年末》 12月31日まで
午前8時30分～午後5時まで
- 《年始》 1月1日～2日 **店休日**
1月3日～4日
午前8時30分～午後5時まで
1月5日より通常営業
午前8時30分～午後7時まで

購買【58-5050】

- 《年末》 12月29日～31日
午前8時～午後5時まで
- 《年始》 1月1日～2日 **店休日**
1月3日～4日
午前8時～午後5時まで
1月5日より通常営業
午前8時～午後6時まで（平日）
午前8時～午後5時まで（土日）

Aコープ【58-8711】

- 《年末》 12月31日
午前9時～午後6時まで
- 《年始》 1月1日～2日 **店休日**
1月3日～4日
午前9時～午後5時まで
1月5日より通常営業
午前9時～午後7時まで

第一SS【58-6381】 第二SS【58-5454】 農機具・ガス【58-6677】

- 《年末》 12月31日
午前7時～午後6時まで
- 《年始》 1月1日～2日 **店休日**
1月3日～4日
午前8時～午後5時まで
1月5日より通常営業
午前7時～午後7時まで

窓口業務【58-6511】

- 《年末》 12月29日まで
午前8時30分～午後3時まで
- 《年始》 1月4日より通常営業
午前8時30分～午後3時まで

ATMコーナー【58-6538】

- 《年末》 12月30日まで
午前7時～午後8時まで
12月31日まで
午前7時～午後7時まで
- 《年始》 1月1日～2日 **ATM休止**
1月3日
午前7時～午後7時まで
1月4日より通常営業
午前7時～午後8時まで

ルミエール【58-5757】

年中無休・24時間対応